

第100期 中間株主通信

2021年4月1日 ▶ 2021年9月30日



Evolution for Customers

— 全進で未来へ"シンカ" —

株主の皆様には日頃より当社へのご支援を賜りまして、心よりお礼申し上げます。

新型コロナウイルスにより影響を受けている皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

さて、先日、中間決算の発表をいたしました。株主の皆様には当社の状況、そして今後の見通し等を詳細にお伝えできればと思います。ご一読いただけますようよろしくお願い申し上げます。

株式会社ヒガシトゥエンティワン
取締役 代表執行役社長 児島 一裕

Q1 2022年3月期第2四半期の業績についてどのように評価していますか。

3つの重点事業領域を中心に順調に売り上げを増やすとともに、コスト構造改革も功を奏し、売上高、利益ともに前年同期を上回り、過去最高値を更新しました。(3つの重点事業領域の詳細につきましてはQ2をご参照ください)

「中期経営計画2023（2021/3～2023/3期）」の2年目に当たる今年度は、前年度に比べコロナ禍の影響が弱まったことに加え、3PL事業において、eコマース及びインフラ会社向け事業の物流量が、ITサービス事業においてはGIGAスクール構想に伴うPCキッティング業務の受託量が、それぞれ順調に伸びました。また、コロナ禍においても高い収益性をしっかりと確保していくべく前年度に続いて本社間接経費を徹底的に見直すとともに、採算の低い

事業のコスト構造改革を推進しました。これらの取り組みが結果に現れたものだと考えています。

こうしたことはひとえに、エッセンシャルワーカーとして最前線で働き続けてくれたドライバーをはじめとする現場の従業員が、目標の達成に向け高い意識を持って業務に邁進してくれたおかげだと思っています。

Q2 3つの重点事業領域の状況について教えてください。

当社が強みとする、人・倉庫・マテハン（ベルトコンベアや梱包機器など）、車両・システムの最適な組み合わせによる物流設計力を基盤とし、今後大きな成長が見込める事業として、3つの重点事業領域を設けています。

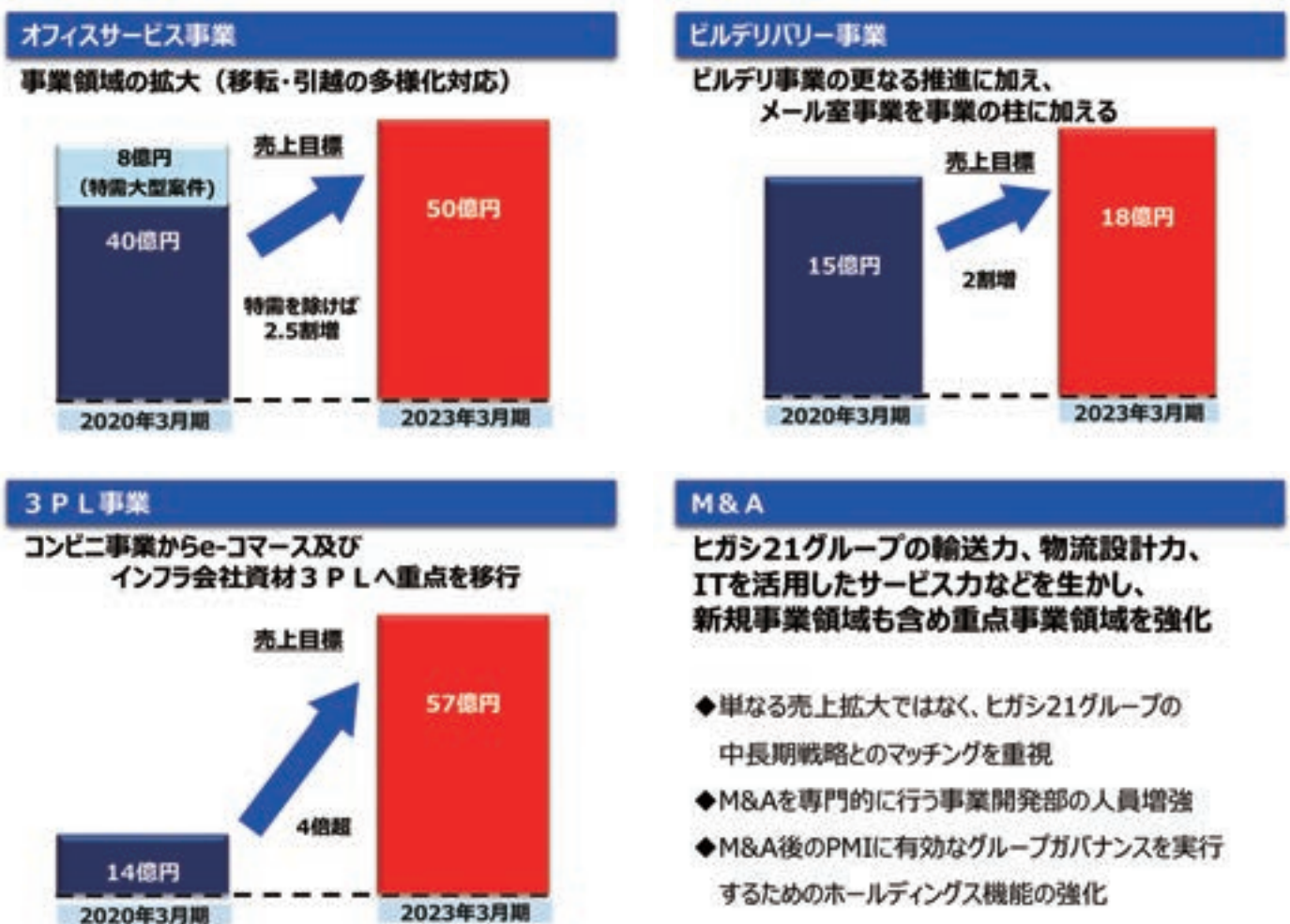
まず、認証・追跡システムを活用した万全のセキュリティを強みに事務所移転・引越などを請け負う「オフィスサービス事業」の売上高は、事務所移転需要の増加などにより20億4百万円（前年同期比19.9%増）となりました。「中期経営計画2023」の最終年度である2023年3月期の売上目標である50億円に向け、順調に進捗しています。

長年の輸送・庫内作業の実績・ノウハウと800社超の協力会社を持つ強みが武器の「3PL事業」の売上高は、eコマース向け大型物流センターの本格稼働などにより、15億29百万円（同17.6%増）となりました。2023年3月期の売上目標である57億円に向け、今後さらに勢いをつけて事業拡大に取り組んでいきます。

また、独自のELV荷捌駐車場管理システムなどを活用しビル内の配送を効率化する「ビルデリバリー事業」の売上高は、入居時のファシリティマネジメント業務の受託が増えたものの、企業のテレワーク推奨による取次物流量減少などにより、7億68百万円（同1.1%減）となりました。コロナ禍の影響を受けわずかに減収となりましたが、今後、感染状況が落ち着いてくれば物量は戻ると見込んでおり、2023年3月期の売上目標である18億円は十分に達成できると考えています。

今後は、これら3つの重点事業領域を起点にさらなる企業成長を実現していきます。

（ご参考）中期経営計画2023における重点事業領域施策の概要



Q3 今期の業績見通しについて展望を教えてください。

資材調達3PL事業の上乗せ、さらにはeコマース向け業務の拡大などにより、過去最高収益を見込んでいます。

2022年3月期第2四半期の業績発表に合わせ、通期の業績予想についても上方修正し、売上高265億円（前期比8.4%増）、営業利益13億円（同27.6%増）、経常利益14億50百万円（同12.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益9億10百万円（同37.1%増）と予想しています。

当第2四半期において売上、利益ともに事前の想定を超えたこと

に加え、下半期については、10月からスタートしたインフラ会社向け資材調達3PL事業への初期投資、中長期的な成長を引っ張ってくれる3つの重点事業領域への人材投資により経費は増えるものの、資材調達3PL事業の上乗せ、さらにはeコマース向け業務の拡大、首都圏における事務所移転サービス業務の獲得などにより、売上・利益ともに過去最高を見込んでいます。

(百万円)



	2022年3月期連結業績予想		【ご参考】 2021年3月期実績
	金額	前期比	金額
売上高	26,500	8.4%増	24,436
営業利益	1,300	27.6%増	1,022
経常利益	1,450	12.6%増	1,287
親会社株主に帰属する 当期純利益	910	37.1%増	666
1株当たり 当期純利益 (円)	69.5	—	51.33

Q4 株主還元の方針について教えてください。

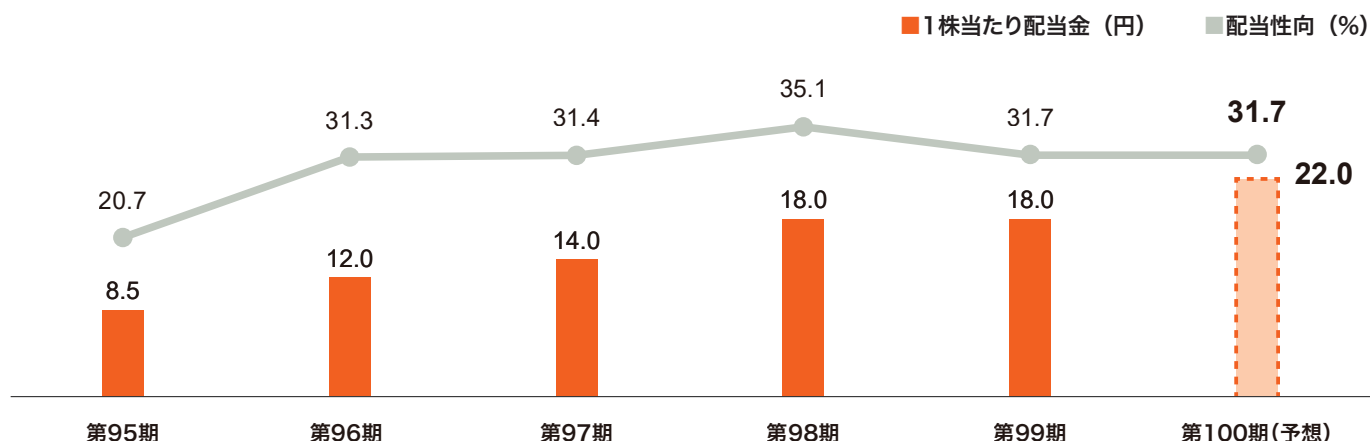
業績の上方修正に合わせ、期末配当を当初予想の20円からさらに2円積み増し、22円とさせていただきます。

当社は、会社を長期的に発展させるための基盤となる財務体質の強化を図りながらも、株主の皆さまへの利益還元を重要課題の一つと認識しており、連結配当性向30%以上を目安に、安定的かつ継続的な配当を実施していく方針です。

2022年3月期につきましては、中期経営計画最終年度の目標である「1株当たり20円」の配当を1年前倒しで実現する予想を立てていましたが、2022年3月期第2四半期の業績発表で業績予想を

上方修正したのに合わせ、さらに2円を積み増し、1株当たり22円とさせていただきます。

1株当たり配当金・配当性向の推移



Q5 情報開示を充実させるためにどのような取り組みをしていますか。

「会社イメージ紹介動画」「事業内容紹介動画」「会社創立75周年記念制作動画」の映像コンテンツを公開するなど、情報開示に積極的に取り組み、当社の企業価値をより多くの人に伝えていきます。

当社は、株主の皆さま、投資家、取引先など関係するさまざまなステークホルダーの皆さまに、信頼され評価していただけるよう、適切な情報開示の実現に積極的に取り組んでいます。その一環として、2021年6月、オフィシャルサイトのIRページの充実を図り、新たに映像コンテンツを公開しました。

コンテンツは、企業理念や会社の沿革、事業の歩み、社会貢献活動など会社全般の取り組みを取り上げた「会社イメージ紹介動画」、総務系物流・BPOサービス、ビル内デリバリーサービス、オフィス移転サービス、PCキッティング・IT関連サービス、介護用品レンタル・販売サービスなどの事業の内容を取り上げた「事業内容紹介動画」、そして、会社のこれまでの歩みを振り返るとともに新たなチャレンジを続け、業容を拡大してきた歴史を紹介する「会社創立75周年記念制作動画」の3つです。今後も情報開示に積極的に取り組むことにより、当社の企業価値をより多くの方に理解していただけるよう努めていきます。

当社は、さらなる成長加速を実現するための長期ビジョン「ヒガ

シ21 グループ VISION2030」を策定し、「お客様に最高のサービスをお届けするために変革し続ける企業」の実現に向けた新しいコーポレートスローガン「Evolution for Customers 一全進で未来へ“シンカ”一」を制定しています。

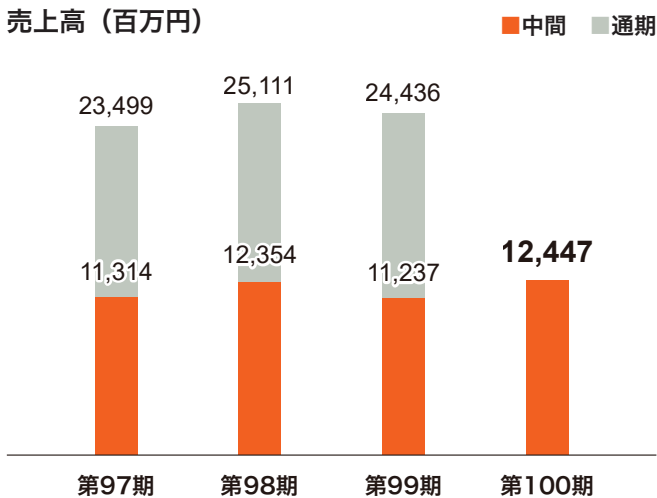
このスローガンは、未来に向かって、グループ全従業員が一丸となって全てを前に進めていく、という想いを「全進」に、自社サービスをさらに「進化・深化・新化」させ、ステークホルダーへ「新価」を提供するという意志を「シンカ」という言葉に込めています。

「中期経営計画2023」は、この「VISION2030」に向け変革の基礎を固める最初の3年間と位置付けています。グループで働くメンバーが前向きな気持ちで業務に取り組める環境を作り出し、笑顔の咲く明るい職場にしながら、全従業員一丸となって目標達成に向け邁進していきたいと考えています。

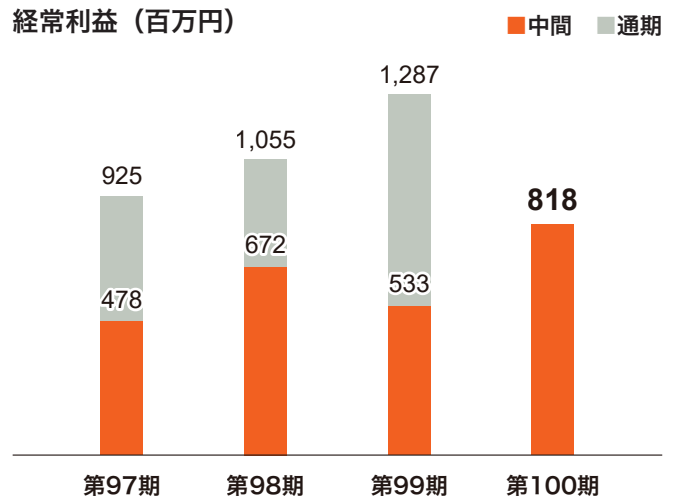
Evolution for Customers
—— 全進で未来へ “シンカ” ——

決算ハイライト

売上高（百万円）

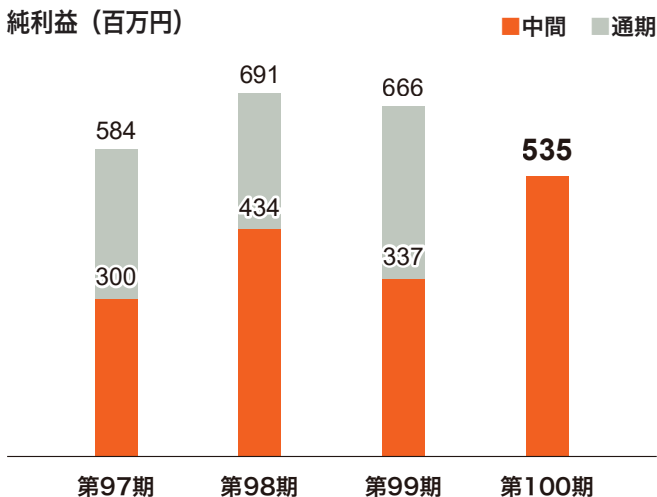


経常利益（百万円）

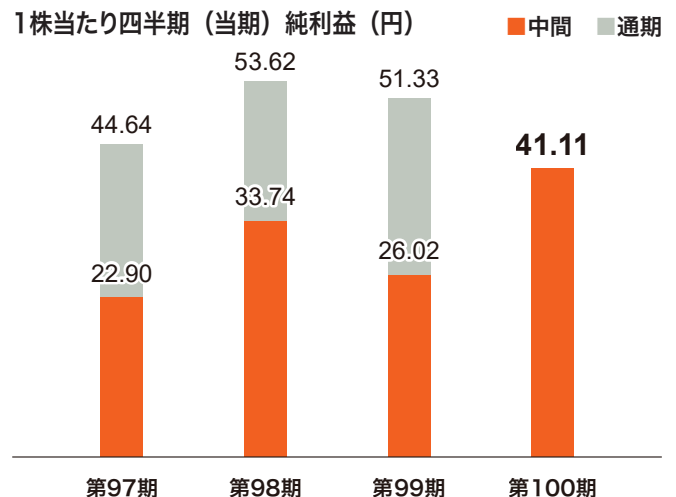


親会社株主に帰属する四半期（当期）

純利益（百万円）



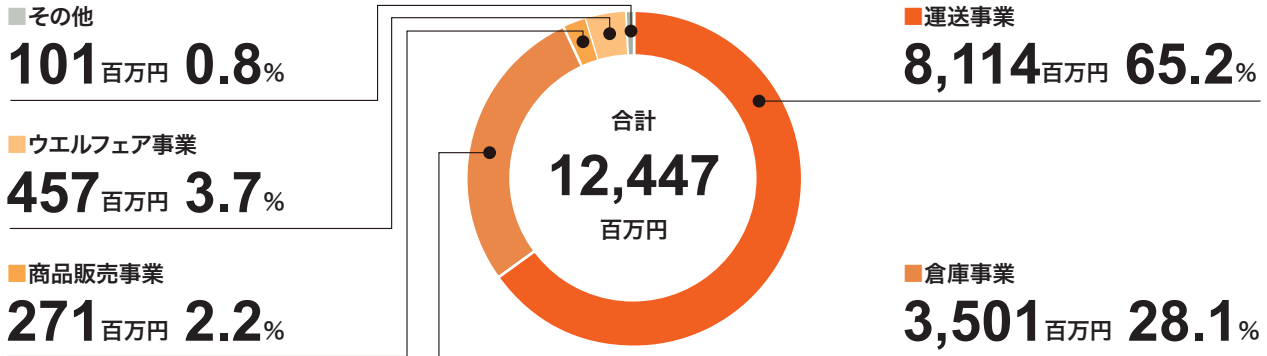
1株当たり四半期（当期）純利益（円）



（注）記載金額は、百万円未満切り捨てて表示しております。

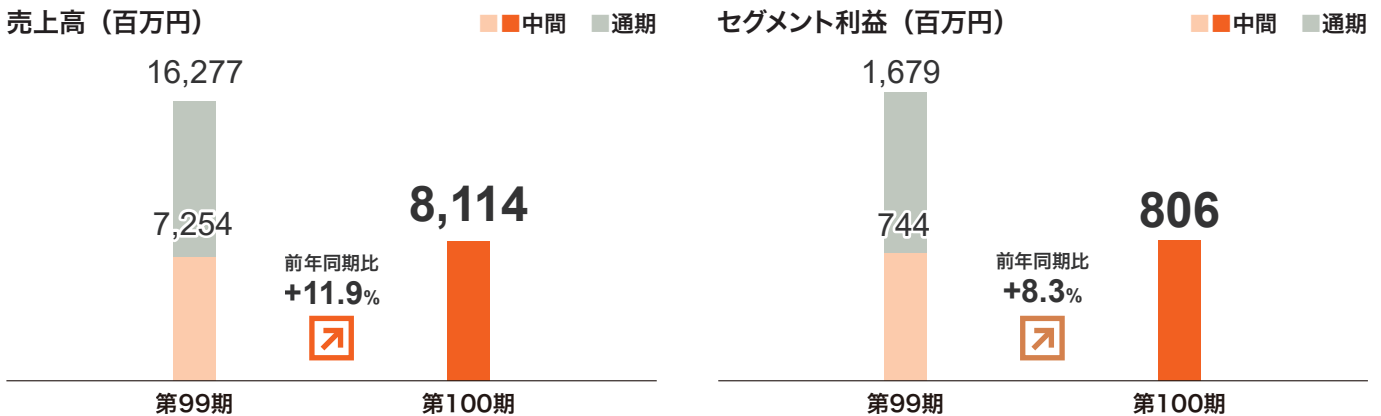
事業の概況

セグメント情報



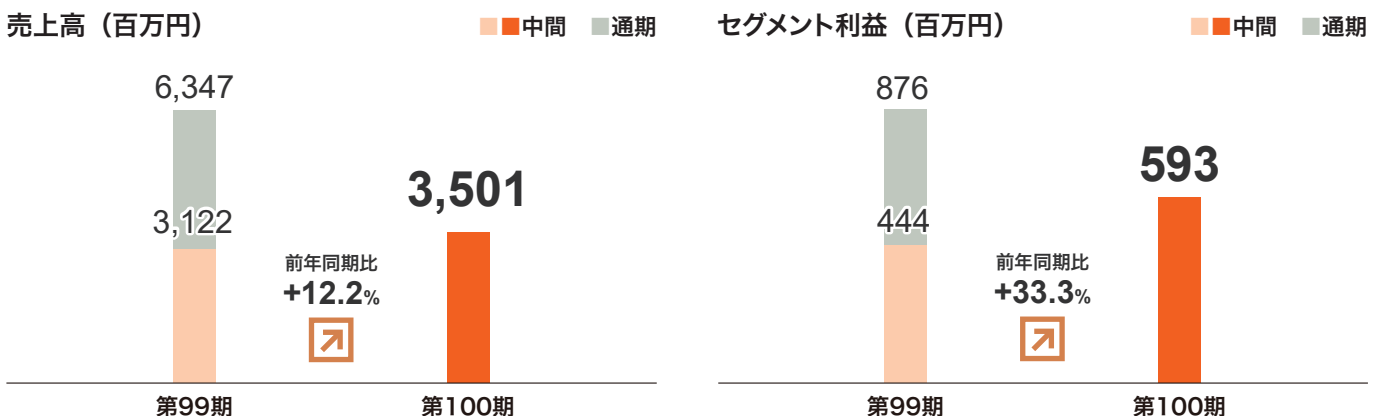
運輸事業

当事業につきましては、売上高は81億14百万円（前年同期比11.9%増）となり、セグメント利益は8億6百万円（同8.3%増）となりました。これは主に、事務所移転作業が増加したことによるものです。



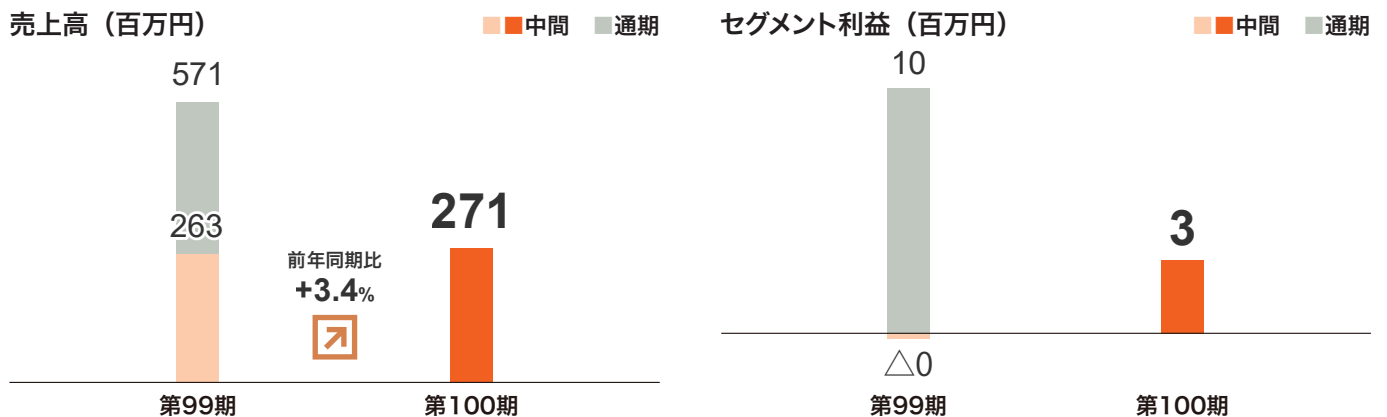
倉庫事業

当事業につきましては、売上高は35億1百万円（前年同期比12.2%増）となり、セグメント利益は5億93百万円（同33.3%増）となりました。これは主に、大口得意先からの庫内業務を受注したことによるものです。



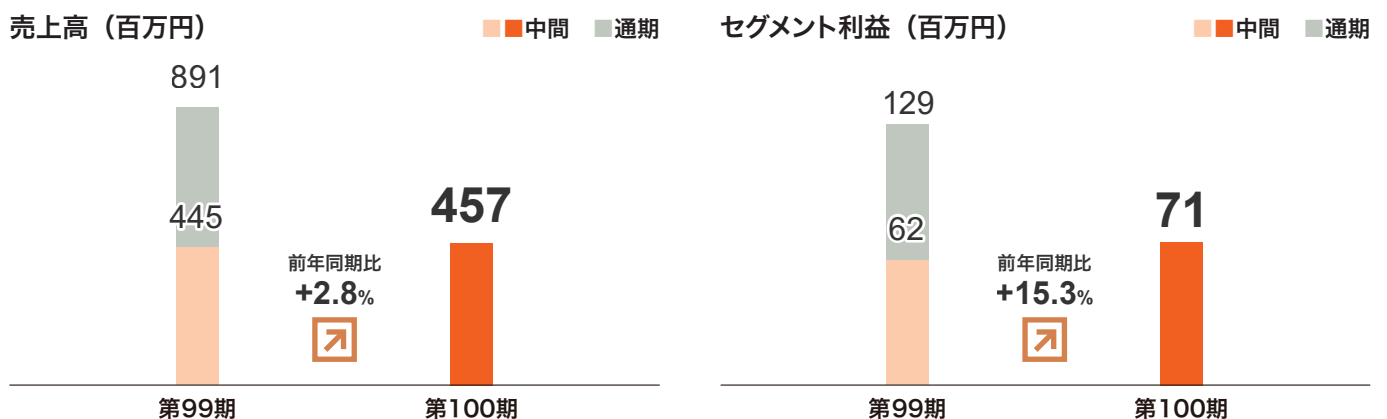
商品販売事業

当事業につきましては、売上高2億71百万円（前年同期比3.4%増）となり、セグメント利益は3百万円（前年同期は0百万円の損失）となりました。これは主に、コピー用紙等の販売が増加したことによるものです。



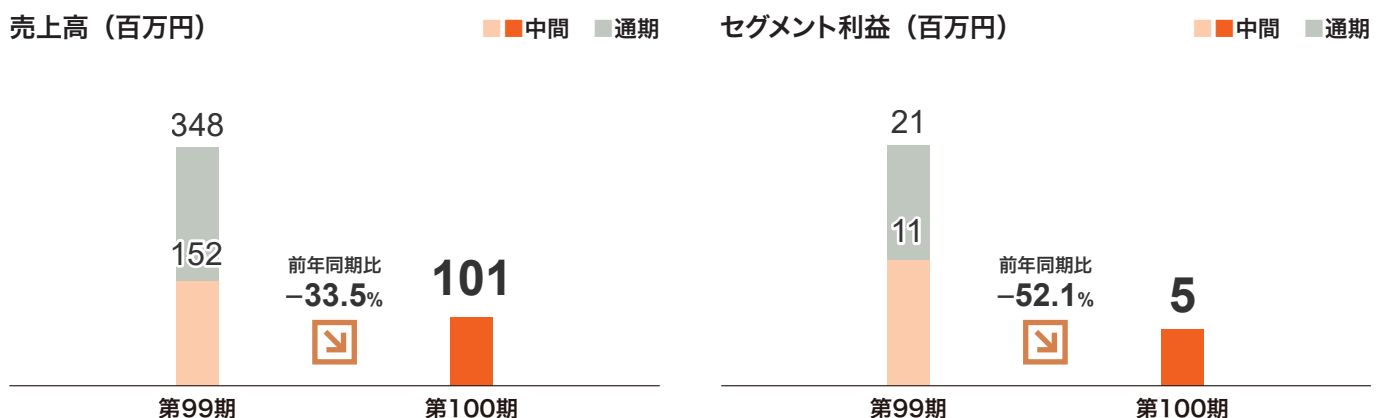
ウエルフェア事業

当事業につきましては、売上高4億57百万円（前年同期比2.8%増）となり、セグメント利益は71百万円（同15.3%増）となりました。これは主に、福祉用具の貸出しにより売上が増加し、拠点の統廃合による人件費等が減少したことにより、セグメント利益が増加したことによるものです。



その他

当事業につきましては、売上高1億1百万円（前年同期比33.5%減）となり、セグメント利益は5百万円（同52.1%減）となりました。これは主に、駐車場事業の大口得意先との契約終了、PCデータのイレース作業（機密データの消去や物理破壊等）のスポット案件が終了したことによるものです。



TOPICS 1 ▶ 関西電力送配電様向け「資材調達3PL事業」を開始しました

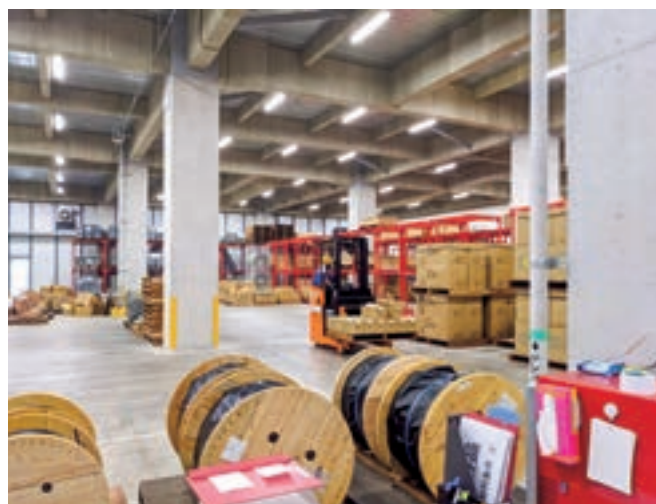
2021年10月、ヒガシトゥエンティワン関電ロジネット事業部において、新たに関西電力送配電様向けの資材調達3PL事業を開始いたしました。また事業開始に伴い、関電ロジネット事業部に「関電資材調達グループ」を新設いたしました。

この事業は、[中期経営計画2023]で重点事業領域として掲げている、「3PL事業」における新規の事業となります。

資材供給・納品、手続きの各社関係



資材倉庫



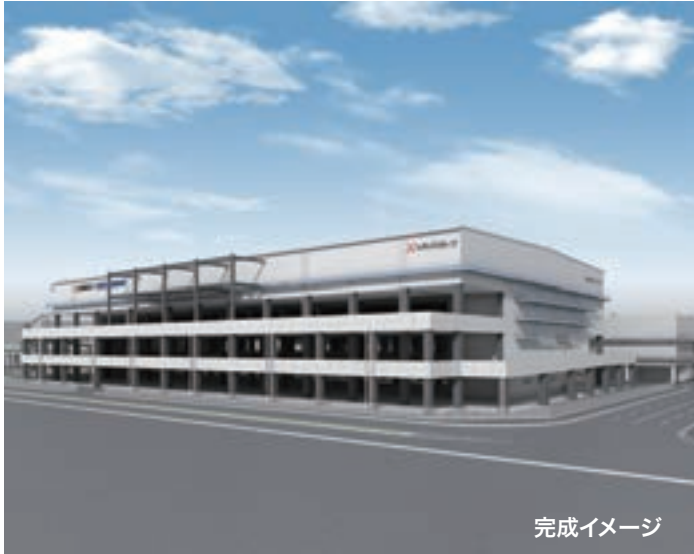
▶ 事業の特長

当事業は、当社が関西電力送配電様に代わり資材の仕入・販売（納品）を実施する3PL事業です。資材供給メーカー様側・工事会社様側が直接取引する場合に比べ、物流費の削減・双方の契約・請求・支払等の煩雑な事務手続きの大幅な簡素化を実現しています。また、関西電力送配電社給資材に関する管理業務の簡素化を実現しています。

TOPICS 2 ▶ 「北大阪ロジスティクスセンター」の開設を決定しました

中期的な3PL事業を中期的に強化する一環として、2023年4月大阪府茨木市宮島に「北大阪ロジスティクスセンター」の開設を決定いたしました。2019年10月のニッセイロジスティクスセンター東大阪、2020年7月の門真総合物流に続く新たな大型3PL物流拠点開設となります。

倉庫概要



所在地	大阪府茨木市宮島
建物延床総面積	50,000㎡ (15,000坪)
構造・規模	地上7階建 (倉庫部分4階層のうち3・4階部分)
トラックバース	シングルランプウェイ (分離型) 片面34バース
竣工予定	2023年4月

▶ センターの特長

当センターは1万9,800平方メートルの倉庫で、24時間365日稼働可能、立地・環境ともに利便性が高く、多様なニーズに対応できる施設です。これまで培ってきたセンター運営のノウハウや北大阪トラックターミナルに隣接、近畿自動車道摂津北インターチェンジから1.4キロメートル・大阪中心部まで10キロメートルの立地を生かし、自社の配送車両によるチャーター便や共同配送にも対応していきます。

また、在庫を保管・管理し、店舗別や方面別に仕分けをしてエンドユーザーなどに納品するディストリビューションセンター (DC) と、保管・管理をせず入荷したものをすぐに仕分け作業を行い、次の納品先へ出荷するトランスファーセンター (TC) の双方の業務に対応していきます。

TOPICS 3 ▶ 「交通安全絵画コンテスト2021」を開催しました

ヒガシトゥエンティワンでは子どもたちや従業員の交通安全意識の啓発などを目的に、グループ従業員関係者の子どもたちから、「交通安全」をテーマにした絵画を募集する活動を続けています。

今年度は82作品の応募があり、下記の作品が最優秀賞として選出されました。



幼児部門



小学生低学年部門



小学生高学年部門

応募のあった絵画の一部は、翌年のカレンダーへ印刷し関係各所にお配りする他、「こどもミュージアムプロジェクト」の一環としてヒガシ21グループのトラックにラッピングしています。



会社概要・株式の状況



会社概要 (2021年9月30日現在)

社名	株式会社ヒガシトゥエンティワン HIGASHI TWENTY ONE CO.,LTD.
設立	1944年12月
本社	大阪市中央区久宝寺町三丁目1番9号 〒540-0013 TEL06 (6945) 5611 (代)
東京本社	東京都港区新橋一丁目18番16号日本生命新橋ビル9階 〒105-0004 TEL03 (6455) 7021
資本金	10億円
主なグループ事業内容	サードパーティ・ロジスティクス (3PL) 事業、輸送事業、倉庫保管事業、ドキュメントサービス事業、物流加工事業、事務所移転引越事業、IT関連事業、ビル内デリバリー事業、介護福祉関連事業、駐車場運営事業、オフィス関連サービス事業、機密文書リサイクル事業、産業廃棄物管理事業、人材派遣事業
従業員数	連結従業員数1,024名 (単体従業員数513名)
グループ会社	ユートランスシステム株式会社 株式会社イシカワコーポレーション 株式会社FMサポート21 株式会社トランスポート21 株式会社ワールドコーポレーション ヒガシオフィスサービス株式会社

役員 (2021年9月30日現在)

取締役				執行役			
取締役	児島 一裕	社外取締役	江上 雅彦	社外取締役	勝田 達規	代表執行役社長	児島 一裕 [※]
取締役	山田 寛	社外取締役	樋口 真人	社外取締役	丸山 雅也	常務執行役	山田 寛 [※]
取締役	田口 宗勝	社外取締役	大西 由紀			常務執行役	田口 宗勝 [※]
取締役	原田 昌也	社外取締役	脇 陽子			常務執行役	原田 昌也 [※]

※は取締役を兼務しております。

執行役員 (2021年9月30日現在)

執行役員	外園 千尋	執行役員	氏郷 敏章	執行役員	新井 慶景
執行役員	吉原 永詞	執行役員	山川 圭洋	執行役員	窪田 一夫
執行役員	角野 公史	執行役員	井上 和大	執行役員	日吉 晋介

株式の状況

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数 (自己株式207,425株を除く。)	13,056,575株
株主数	3,780名

配当の状況

中間配当	行っておりません。
期末配当	1株22円 (予定)

*現在、配当の決定は通期の業績を踏まえて実施しているため、年1回の期末配当としております。

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
関西電力株式会社	1,800	13.8
日本生命保険相互会社	1,040	8.0
星光ビル管理株式会社	938	7.2
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	741	5.7
株式会社毎日新聞社	700	5.4
ヒガシトゥエンティワン従業員持株会	560	4.3
東京センチュリー株式会社	540	4.1
株式会社西日本シティ銀行	520	4.0
株式会社三菱UFJ銀行	364	2.8

(注) 持株数は、千株未満を切り捨て、持株比率は小数点第2位を四捨五入して表示しております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
公告の方法	電子公告により行う。公告掲載URL https://www.e-higashi.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、毎日新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



ホームページのご案内

当社をよりご理解いただくためにも、是非ご覧ください。

<https://www.e-higashi.co.jp> ヒガシ21 検索

公式SNSはじめました!



facebook



Instagram



ヒガシ21

ヒガシ21



当社は、2006年5月25日付で、プライバシーマーク付与に関する認定を受けました。



当社は、9営業所で安全性優良事業所として認定を受けております。Gマークは優良事業所のみ与えられる「安全」・「安心」・「信頼」の証です。

トゥエンティワン

株式会社ヒガシ21